

平成30年6月定例会

# 予算決算委員会会議録

長 崎 県 議 会

## 目 次

(7月4日)

1、開催日時・場所	1
2、出席者	1
3、付議事件	2
4、経過	
分科会長報告	3
採決	6
5、審査結果報告書	9

## 平成30年6月定例会 予算決算委員会日程（結果）

月日	曜	内 容 等
6月26日	火	分科会・常任委員会
6月27日	水	分科会・常任委員会
6月28日	木	分科会・常任委員会
6月29日	金	分科会・常任委員会
7月4日	水	委員会（分科会長報告・採決）

7 月 4 日

(分科会長報告・採決)

1、開催年月日時刻及び場所

平成30年7月4日

自 午前11時 0分  
至 午前11時21分  
於 本 会 議 場

〃 大久保潔重 君  
〃 松本 洋介 君  
〃 吉村 洋 君  
〃 山本 由夫 君  
〃 宅島 寿一 君

2、出席委員の氏名

委 員 長 高比良 元 君  
副 委 員 長 山本 啓介 君  
委 員 宮内 雪夫 君  
〃 八江 利春 君  
〃 三好 徳明 君  
〃 田中 愛国 君  
〃 小林 克敏 君  
〃 吉村 庄二 君  
〃 中山 功 君  
〃 橋村松太郎 君  
〃 渡辺 敏勝 君  
〃 坂本 智徳 君  
〃 瀬川 光之 君  
〃 中島 廣義 君  
〃 徳永 達也 君  
〃 山田 博司 君  
〃 久野 哲 君  
〃 下条ふみまさ 君  
〃 堀江ひとみ 君  
〃 中村 和弥 君  
〃 山田 朋子 君  
〃 浅田眞澄美 君  
〃 西川 克己 君  
〃 川崎 祥司 君  
〃 前田 哲也 君  
〃 深堀 浩 君  
〃 中島 浩介 君

〃 麻生 隆 君  
〃 山口 経正 君  
〃 近藤 智昭 君  
〃 坂本 浩 君  
〃 里脇 清隆 君  
〃 大場 博文 君  
〃 宮本 法広 君  
〃 高橋 勝幸 君

3、欠席委員の氏名

委 員 野本 三雄 君  
〃 外間 雅広 君  
〃 ごうまなみ 君  
〃 吉村 正寿 君

4、委員外出席議員の氏名

な し

5、県側出席者の氏名

危 機 管 理 監 豊永 孝文 君  
総 務 部 長 古川 敬三 君  
企 画 振 興 部 長 柿本 敏晶 君  
企画振興部政策監 廣田 義美 君  
文化観光国際部長 中崎 謙司 君  
文化観光国際部政策監 田代 秀則 君  
県 民 生 活 部 長 木村伸次郎 君  
環 境 部 長 宮崎 浩善 君  
福 祉 保 健 部 長 沢水 清明 君  
こども政策局長 園田 俊輔 君

産業労働部長 平田 修三 君  
 産業労働部政策監 下田 芳之 君  
 水産部長 坂本 清一 君  
 農林部長 中村 功 君  
 土木部長 岩見 洋一 君  
 交通局長 太田 彰幸 君

教育委員会教育長 池松 誠二 君  
 教育次長 本田 道明 君

会計管理者 野嶋 克哉 君  
 選挙管理委員会書記長 井手美都子 君  
 監査事務局長 辻 亮二 君  
 人事委員会事務局長  
 (労働委員会事務局長併任) 寺田 勝嘉 君  
 議会事務局長 木下 忠 君

警務部長 伊藤 健一 君

議会事務局職員出席者

総務課長 高見 浩 君  
 議事課長 篠原みゆき 君  
 政務調査課長 太田 勝也 君  
 議事課課長補佐 増田 武志 君  
 議事課係長 小村あゆみ 君  
 議事課係長 梶谷 利 君  
 議事課主任主事 天雨千代子 君

6、付議事件の件名

第95号議案

平成30年度長崎県一般会計補正予算（第1号）

報告第2号

平成29年度長崎県一般会計補正予算（第9号）

報告第3号

平成29年度長崎県母子父子寡婦福祉資金特別会計補正予算（第1号）

報告第4号

平成29年度長崎県農業改良資金特別会計補正予算（第2号）

報告第5号

平成29年度長崎県林業改善資金特別会計補正予算（第2号）

報告第6号

平成29年度長崎県県営林特別会計補正予算（第3号）

報告第7号

平成29年度長崎県沿岸漁業改善資金特別会計補正予算（第2号）

報告第8号

平成29年度長崎県小規模企業者等設備導入資金特別会計補正予算（第2号）

報告第9号

平成29年度長崎県庁用管理特別会計補正予算（第2号）

報告第10号

平成29年度長崎県長崎魚市場特別会計補正予算（第1号）

報告第11号

平成29年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第3号）

報告第12号

平成29年度長崎県流域下水道特別会計補正予算（第3号）

報告第13号

平成29年度長崎県公債管理特別会計補正予算（第2号）

報告第14号

平成29年度長崎県港湾整備事業会計補正予算（第3号）

報告第15号

平成29年度長崎県交通事業会計補正予算（第3号）

7、審査の経過次のとおり

— 午前11時 0分 開会 —

【高比良委員長】ただいまから、予算決算委員会を開きます。

なお、野本委員、外間委員、ごう委員、吉村正寿委員から欠席する旨の届が出ておりますので、ご了承をお願いいたします。

これより議事に入ります。

まず、本日の委員会の会議録署名委員を慣例により、私から指名させていただきます。

会議録署名委員は、中島廣義委員、高橋委員のご両人をお願いいたします。

それでは、本委員会に付託されました、第95号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」ほか14件を議題といたします。

これより各分科会長から審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

大場総務分科会長。

【大場総務分科会長】総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第95号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分ほか3件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

報告第2号「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第9号）」のうち関係部分について、「県

警関係の公舎等敷地売却収入」に関し、「増額の内訳はどのようなになっているのか。」との質問に対し、「主な増額の内訳は、城栄町公舎跡地を約1億9千万円の売却で見込んでいたものが約2億7千万円で売却となり、約7千900万円の増となった。その他、平成29年度の売却予定ではなかった、東彼杵駐在所跡地が644万円、北栄町官舎跡地が700万円で購入希望があり、前倒しで売却したことにより合計で9千247万円の増となった。」との答弁がありました。

これに対し、「この他に未利用地の売却として何箇所予定しているのか。」との質問に対し、「県警で保有している未利用地は現在25箇所あり、平成30年度は5箇所を売却する予定としている。」との答弁がありました。

以上のほか、総務関係予算全般にわたり熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、よろしくをお願いいたします。

【高比良委員長】次に、文教厚生分科会長の報告を求めます。

近藤文教厚生分科会長。

【近藤文教厚生分科会長】文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第95号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分ほか2件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決・承認すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

第95号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分について、ま

ず、「統合型校務支援システム構築事業費」に関し、「国の委託事業として、全国で4県の採択とのことだが、システムの導入目的は何か。また、今後の展開をどのように考えているか。」との質問に対し、「統合型校務支援システムは、児童生徒に関する指導要録や出欠等の学籍管理、健康診断表や成績処理等、学校内のあらゆる校務情報を一元的に集約し、効率的に校務処理ができるシステムであり、教員の業務負担の軽減や情報セキュリティの強化を図ることが目的である。今年度は3市町、18校で試験的に導入し、来年度以降、その検証結果を他市町へ拡げていきたいと考えている。」との答弁がありました。

これに対し、「現場の課題をよく理解したうえで、より良いシステムを構築できるよう取り組んでいただきたい。」との意見がありました。

次に、「健康長寿日本一の長崎県づくり推進事業費」に関し、「健康寿命とは、日常生活に制限のない期間の平均であり、今回の事業内容は県民会議の設置や会議を通じた健康意識の醸成であると認識しているが、もっと具体的な事業を構築すべきではないか。」との質問に対し、「健康寿命の延伸や健康づくりには、様々な手法があるが、プロジェクトチームを設置して課題等の分析を行っており、生活習慣病の重症化等が要介護の状態に至る大きな要因であると考えている。このため、健康的な生活習慣に取り組んでいただくことが大切であり、まずは多くの県民に、本事業を通じて、その必要性や取組内容等を周知したいと考えている。」との答弁がありました。

さらに、「健康増進に関する施策は各市町でも取り組んでおり、県民会議では、行政だけではなく民間団体等も含め幅広く情報の共有化を図ることが県の大事な役割と考えるが、その見解は。」との質問に対し、「県民会議では、継

続的な取組を推進するため、本県の健康課題等、説得力のある内容を示すとともに、各市町や団体の優良事例の紹介等を行い、広く展開を図っていきたい。」との答弁がありました。

これに対し、「結果として結びつくよう、具体的かつ実効性のある会議としていただきたい。」との意見がありました。

次に、報告第2号「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第9号）」のうち関係部分について、「高等学校等就学支援金」に関し、「世帯所得額が910万円未満の場合、所得額に応じて支給されるとのことだが、約1千600万円の減額については、当初どのような根拠で支給対象人数を見積もっていたのか。所得区分は判断し難いとしても、おおよその支給対象人数は把握できるのではないか。」との質問に対し、「予算計上時において、正確な支給対象人数を把握することは難しく、前年度の実績により推計したものの、近年の少子化の影響等もあり、全体的な私立学校の生徒数が減少したため、減額することとなった。」との答弁がありました。

以上のほか、文教厚生関係予算全般にわたり熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】次に、環境生活分科会長の報告を求めます。

里脇環境生活分科会長。

【里脇環境生活分科会長】環境生活分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第95号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分ほか5件であります。

慎重に審査いたしました結果、いずれも異議



なく、原案のとおり可決・承認すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

まず、報告第2号「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第9号）」のうち関係部分について、「島原半島満喫プロジェクト推進事業」に関し、「調査委託費393万8千円の減額の内容と理由は何か。」との質問に対し、「訪日外国人の意向等調査分析業務の入札率が32%となり、283万円の減額となったこと及びジオパークモニターツアーの入札残、その他の執行残を合わせて減額となった。」との答弁がありました。

これに対し、「今年度も510万円ほどの予算が計上されているため、着実に効果的な予算の執行を図られたい。」との意見に対し、「今年度も県の予算及び国の展開事業の予算を確保しており、予定どおり執行できるよう努力してまいります。」との答弁がありました。

次に、「カネミ油被害者対策費」に関し、「現在、カネミ油被害者は、全国及び県内に何名いるか、また、今回の予算減額の主な理由は何か。」との質問に対し、「全国の被害者数は、平成29年3月末現在で1,558名であり、県内においては、平成30年3月末現在、468名となっている。県内の主な内訳としては、長崎市に131名、五島市に282名、長与町に12名などである。また、減額の理由としては、一斉検診における薬剤費等の減額分である。」との答弁がありました。

次に、報告第15号「平成29年度長崎県交通事業会計補正予算（第3号）」について、「運輸収入」に関し、「乗合、貸切を含めた収入減ということで、今回5千500万円の減額補正となっているが、輸送人員はどれくらいだったのか。」との質問に対し、「輸送人員の詳細な数値については、決算に向けて精査中である。定期乗合

収入については、今回2千500万円ほどの減額補正となっているが、対前年度と比較すると増加している。減額補正の要因としては、積雪による県外高速の運休や例年より寒い冬の影響で、全体的に人の動きが少なくなったということが考えられる。また、貸切収入については、県内一般団体が800万円の減、県外修学旅行が700万円の減、クルーズ船関係が400万円の減となっている。県内旅行者の貸切需要が全体的に減少していることと、平成28年度の熊本地震の影響により修学旅行が戻りきっていないことが大きな要因である。」との答弁がありました。

以上のほか、環境生活関係予算全般にわたり熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、環境生活分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】次に、農水経済分科会長の報告を求めます。

山口農水経済分科会長。

【山口農水経済分科会長】農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第95号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分ほか8件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決・承認すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告いたします。

まず、第95号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第1号）」のうち関係部分について、「外国人材活躍促進事業費」に関し、「調査・協議を行う想定国が、ベトナム等となっているが、具体的にどの地域を検討しているのか。

また、予算の内訳は、どのようになっているのか。」との質問に対し、「ベトナムについては、既に友好交流協定を締結しているクアンナム省をはじめ、ハノイ、ホーチミン等の地域を検討している。また、予算の内訳としては、技能実習生送出国での調査・協議に要する経費で、ベトナム3回、フィリピン1回分を、また、県内企業1,500社程度へのアンケート調査等の経費を計上している。」との答弁がありました。

また、これに関連して、「県として、農業・水産業・福祉等の分野を含めた外国人材の活用について、全体的な枠組みが必要と考えるが、どうか。」との質問に対し、「各部局が、それぞれの所管分野の人材について取組を進めている。県全体で連携していく際には、産業労働部が主体となって進めることになるであろう。」との答弁がありました。

次に、報告第2号「平成29年度長崎県一般会計補正予算（第9号）」のうち、「養殖魚赤潮被害緊急対策事業費」に関し、「事業費の決定に伴い減額補正しているが、その減額の理由はどのようなものか。」との質問に対し、「この事業は、昨年度、伊万里湾での赤潮による養殖被害への緊急対策として、補正予算を組んだものである。トラフグについては、1年魚31万尾の代替導入を支援したが、トラフグ以外の魚については、養殖業者が望む代替魚がなかったため、減額したものである。」との答弁がありました。

次に、「県営漁港水産基盤整備費」に関し、「地元は本事業に大いに期待し、早期完成を望んでいる中、繰越額を縮減することは重要である。繰越額の縮減に向け、どのような対策を実施しているのか。」との質問に対し、「発注を行う関係地方機関と、定期的に打ち合わせを実施し、事業進捗の管理を行うとともに、必要な

助言や指導を行うことにより、ここ数年、繰越額は減ってきている。今後とも、事業着手前の準備期間に、十分な説明等を行えるよう早めに対応し、繰越額の縮減を図っていきたい。」との答弁がありました。

次に、報告第6号「平成29年度長崎県営林特別会計補正予算（第3号）」のうち「普通財産売払収入」に関し、「不動産売払収入の内訳と、約1千600万円の増額補正の経過はどのようなものなのか。」との質問に対し、「収入の内訳は、県営林の間伐材の売払収入である。昨年は試行的に市場売りではなく、現地の山土場売りとする事で、輸送コスト等が縮減され、売払収入が予算額を上回ったことから、増額補正したものである。」との答弁がありました。

以上のほか、農水経済関係予算全般にわたり熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】以上で、各分科会長の報告が全て終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑・討論を省略し、直ちに採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【高比良委員長】ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

各議案は、各分科会長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【高比良委員長】ご異議なしと認めます。

よって、議案は、それぞれ、原案のとおり可決・承認すべきものと決定されました。

以上で、当委員会に付託されました議案の審

査は終了いたしました。

これをもちまして、6月定例会における予算  
決算委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

-----  
— 午前11時21分 閉会 —  
-----

平成30年6月定例会 予算決算委員会  
付 託 議 案 一 覧 表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	環境 生活	農水 経済
予算議案	第 95 号	平成30年度長崎県一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○
報告議案	報告 第 2 号	平成29年度長崎県一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○
	報告 第 3 号	平成29年度長崎県母子父子寡婦福祉資金特別会計補正予算（第1号）		○		
	報告 第 4 号	平成29年度長崎県農業改良資金特別会計補正予算（第2号）				○
	報告 第 5 号	平成29年度長崎県林業改善資金特別会計補正予算（第2号）				○
	報告 第 6 号	平成29年度長崎県県営林特別会計補正予算（第3号）				○
	報告 第 7 号	平成29年度長崎県沿岸漁業改善資金特別会計補正予算（第2号）				○
	報告 第 8 号	平成29年度長崎県小規模企業者等設備導入資金特別会計補正予算（第2号）				○
	報告 第 9 号	平成29年度長崎県庁用管理特別会計補正予算（第2号）	○			
	報告 第 10 号	平成29年度長崎県長崎魚市場特別会計補正予算（第1号）				○
	報告 第 11 号	平成29年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第3号）			○	
	報告 第 12 号	平成29年度長崎県流域下水道特別会計補正予算（第3号）			○	
	報告 第 13 号	平成29年度長崎県公債管理特別会計補正予算（第2号）	○			
	報告 第 14 号	平成29年度長崎県港湾整備事業会計補正予算（第3号）			○	○
	報告 第 15 号	平成29年度長崎県交通事業会計補正予算（第3号）			○	

# 予算決算委員会審査結果報告書

本委員会に付託された事件について審査の結果、下記のとおり決定したので報告する。

平成30年7月4日

予算決算委員会委員長 高比良 元

議長 溝口 芙美雄 様

## 記

### 1 議 案

番 号	件 名	審査結果
第 95 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県一般会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
報 告 第 2 号	平成 2 9 年度長崎県一般会計補正予算 (第 9 号)	承 認
報 告 第 3 号	平成 2 9 年度長崎県母子父子寡婦福祉資金特別会計補正予算 (第 1 号)	承 認
報 告 第 4 号	平成 2 9 年度長崎県農業改良資金特別会計補正予算 (第 2 号)	承 認
報 告 第 5 号	平成 2 9 年度長崎県林業改善資金特別会計補正予算 (第 2 号)	承 認
報 告 第 6 号	平成 2 9 年度長崎県県営林特別会計補正予算 (第 3 号)	承 認
報 告 第 7 号	平成 2 9 年度長崎県沿岸漁業改善資金特別会計補正予算 (第 2 号)	承 認
報 告 第 8 号	平成 2 9 年度長崎県小規模企業者等設備導入資金特別会計補正予算 (第 2 号)	承 認
報 告 第 9 号	平成 2 9 年度長崎県庁用管理特別会計補正予算 (第 2 号)	承 認
報 告 第 10 号	平成 2 9 年度長崎県長崎魚市場特別会計補正予算 (第 1 号)	承 認
報 告 第 11 号	平成 2 9 年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算 (第 3 号)	承 認
報 告 第 12 号	平成 2 9 年度長崎県流域下水道特別会計補正予算 (第 3 号)	承 認
報 告 第 13 号	平成 2 9 年度長崎県公債管理特別会計補正予算 (第 2 号)	承 認
報 告 第 14 号	平成 2 9 年度長崎県港湾整備事業会計補正予算 (第 3 号)	承 認
報 告 第 15 号	平成 2 9 年度長崎県交通事業会計補正予算 (第 3 号)	承 認

計 1 5 件 (原案可決 1 件・承認 1 4 件)

委 員 長 高 比 良 元

副 委 員 長 山 本 啓 介

署 名 委 員 中 島 廣 義

署 名 委 員 高 橋 勝 幸

---

書 記 小 村 あ ゆ み

速 記 (有)長崎速記センター